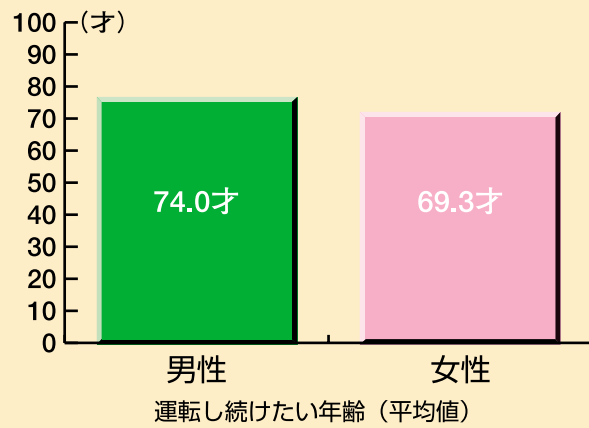


ひと・まち・交通

高齢社会に関する皆さんの意識調査結果をご紹介します。

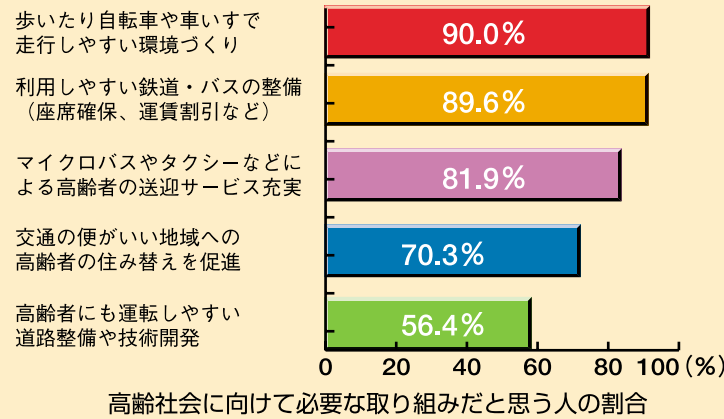
■自動車を運転し続けたい年齢(右図)■

・男性では約74才、女性では約69才でした。



■今後の高齢社会に向けて必要な取り組み(下図)■

・「歩いたり、自転車や車いすが走行しやすい環境づくり」「駅などの段差解消・車両改善・運賃割引」は約9割の人が必要だと回答しました。
 ・また、「高齢者の送迎サービスの充実」が約8割、「交通の便がいい地域への住み替え促進」も約7割と多くの人が必要だと回答しました。



計画策定の進め方

仙台都市圏総合都市交通協議会は、みなさんと共に計画の策定を進めています。

- 平成14年度 現在の交通状況を調べました。
- 平成15年度 交通問題を解消するために検討を行いました。
- 平成16年度 仙台都市圏の総合的な都市交通計画をつくります。

仙台都市圏総合都市交通協議会
宮城県・仙台市

問い合わせ先 ●宮城県都市計画課 企画調査班 022-211-3134
 ●仙台市交通計画課 調査係 022-214-8302

ご意見をお寄せください。

e-mail/sendai-pt@pref.miyagi.jp

(ニュースレター「ひと・まち・交通」を読まれた感想や、パーソントリップ調査の結果についてのご意見をお寄せください。スペースが足りないときは別紙でFAXをお願い致します。)

このままFAX022-211-3295へ

■ご意見

お名前 _____ 男・女 _____ 才 _____ 電話 _____ - _____
 ご住所〒 _____ お仕事 _____

FAXの方はここで切り取って左側をお送りください。

ニュースレター第4号ができました



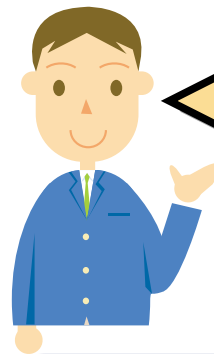
- 特集
自動車と公共交通の使い方を、考えてみましょう。
 ・交通手段の便利さと問題なところ
 ・自動車と公共交通をどう考える？
 ・住みやすい仙台都市圏にするために、くらしと交通を一緒に考えよう
- 都市交通に対する意識調査の結果速報

パーソントリップのホームページを開設しています。みなさんでご覧ください。

ホームページアドレス(宮城県): <http://www.pref.miyagi.jp/tosikei/>
 ホームページアドレス(仙台市): <http://www.city.sendai.jp/toshi/kotsukeikaku/>
 E-mailアドレス: sendai-pt@pref.miyagi.jp



自動車と公共交通の使い方を、考えましよう。



「ひと・まち・交通」4号をお届けします。
 平成16年に宮城県と仙台市は、これからの仙台都市圏での都市交通へのとりくみについて、幅広い意見を寄せていただくために「仙台都市圏の都市交通に関する意識調査」というアンケート調査を実施しました。この調査は、仙台市を中心とした10市町村にお住まいの約1万世帯のみなさまを対象に実施して、約4500世帯の方々から回答をいただいたものです。
 今回は、その調査結果を紹介しながら、みなさんとともに、仙台都市圏の交通がどうあるべきかを考えていきましょう。



交通手段の便利さと問題なところ

先生
 みんなは自動車や鉄道・バスの利用のしやすさについて、どのように考えているかな？

男の子
 いちばん便利な乗り物は自動車ですよね。

先生
 そうだね。自動車は便利な乗り物だね。今回の調査でも、いろいろな面で自動車は便利だと思っている人が多かったよ。下の表をみてごらん。自動車は便利なおとももあるけれど、問題点もあるんだよ。

女の子
 たしかに大気汚染や交通事故などの問題は深刻ですね。

先生
 それから鉄道やバスの便利なおところは「自分が運転しなくてもいいのさ」と思っている人が多かったよ。一方、鉄道とバスの問題として、「ラッシュ時に車内が混雑する」と思う人が多かったよ。バスはそのほか「バス停に屋根やベンチがない」「時刻表とおりにならない」なども問題と思う人が多かったんだ。

自動車・鉄道・バスの便利だと思うこと・問題だと思うこと

	便利なおところ	問題なおところ
自動車	<ul style="list-style-type: none"> 自分の好きな時間にでかけることができる 大きな荷物の買い物に便利 行動範囲が広がって遠出ができる 	<ul style="list-style-type: none"> 中心部の違法駐車で迷惑 道路近くの空気汚染や騒音 交通事故が増える バス利用者が減ってバスが不便になる
鉄道	<ul style="list-style-type: none"> 運行時間が正確である 自分で運転する必要がないから楽である 	<ul style="list-style-type: none"> ラッシュ時間帯に車両が混雑する
バス	<ul style="list-style-type: none"> 自分で運転する必要がないから楽である 	<ul style="list-style-type: none"> ラッシュ時間帯に車両が混雑する バス停に屋根やベンチがない 時間通りにこない

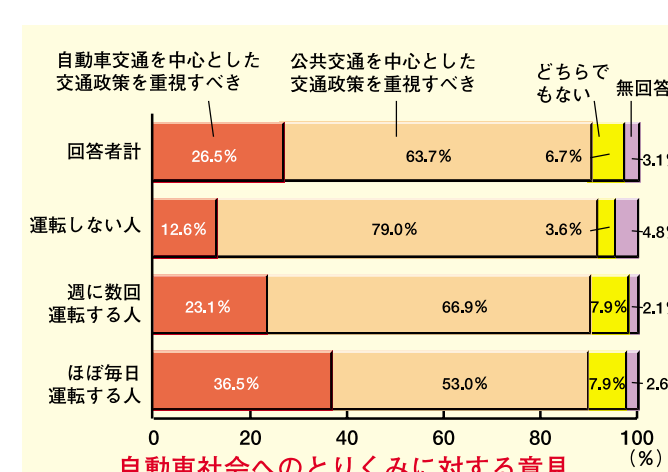
アンケート調査で「非常に思う」「ややそう思う」と回答した人の割合が7割を超える項目を表示しました。

自動車と公共交通をどう考える？

先生
 今の自動車社会へのこれからのとりくみでは、全体の64%が「公共交通を中心とした交通政策を重視すべき」という意見に近い考えを持っているんだよ。

男の子
 多くの方が公共交通のことを大切だと思っているのですね。

女の子
 みて、みて！ほぼ毎日自動車を運転する人でも「公共交通を中心とした交通政策を重視すべき」という人のほうが多いわよ



先生
 いいところに気づいたね。これからはもっと公共交通のことを考えていかなきゃいけないってことは、かなり多くの方が認識しているみたいだね。でも、実際には毎日の生活の中で自動車を利用せざるをえない人も多いんだ。

男の子
 思っていることが実際の行動とは違っていてことですね。

先生
 これからの世の中は、多くの方が考えているように公共交通を大切にしていかなきゃいけないだろうね。そして、公共交通をもっと便利な乗り物にしていくためには、もっとたくさんの人に公共交通を利用してもらうことが必要なんだ。

住みやすい仙台都市圏にするために、くらしと交通を一緒に考えよう

先生
 これまで見てきたように、仙台都市圏では車社会が進んでいるけど、このままていいと思いますか？

男の子
 これ以上車が増えたら、環境にも悪いし、交通事故も増えると思います。

女の子
 それにバス利用者が少なくなって、バス路線がなくなったら、困る人が出てくると思います。

先生
 うん、そうだね。車だけが便利になっても、必ずしも住みやすい社会にはならないよね。では、将来の仙台都市圏がもっと住みやすくなるためには何が必要だと思いますか？

男の子
 バスや鉄道、自転車がいやすくなってスイスイと移動できるよなになったらいいと思います。

女の子
 自動車から、バスや鉄道、自転車などに乗り換える人が増える環境にやさしくなるといいと思います。

女の子
 お年寄りや体の不自由な方も安全に安心して暮らせるよなになるといいと思います。

男の子
 街の真ん中に人が集まると街に元気が出ていいと思います。

先生
 うん、どれも正解だね。あと一つ付け加えるなら、将来のことも考えて、行政と交通事業者だけでなく、地域に住む住民も一緒に交通のことを考えていくことも大切なんだよ。

先生
 これまでに紹介したように、交通は人々のくらしがたても大きくかかっているのて、将来の都市交通を考えるときには、くらしと交通を一緒に考えていく必要があります。次回は「将来のくらしと交通」について見てみましよう。

男の子
 なるほど～

女の子
 みんなで考えていくことが大切なのですね。

次号でまた会いましよう！